

長岡京 サポセン通信

6月号

2016年6月発行

発行所

市民活動ネット・チーム長岡京

サポセン事業部（バンビオ1番館）

075-963-5505 fax:075-963-5523

サポセン登録団体と中小路市長との「対話のわ」の会報告



- 5月30日（月）18:00～20:00 サポセンにて実施、サポセン会員28名と中小路市長以下市の職員6名出席し「協働」をテーマに「対話のわ」の会を開催した。
- 今回は、初めて司会を市役所ではなく、当方（サポセン）にて進めた。
- 冒頭、中小路市長から阪神淡路大震災を契機に起きた行政と住民との「協働」の動きの変遷につきパワーポイントを使用して説明を受けた。今後の行政と市民の関係性は、今までの実施部門の協働から、解決するための協働（市民が一緒に考えていく）である共有へ変化するとの示唆に富んだ説明を受けました。また、市民活動は補助金中心の活動から、今後は自立的で多様な活動への変化を期待し、団体間の交流、情報交換や、テーマ型市民活動と地縁型活動の融合がこれから のテーマであるとのアドバイスを得た。

一方行政側は、従来は職員サイドに臆病さがあり、今後はもっと勇気をもって対応するように、方向性、方針を伝えていきたいとの発言があった。この後意見交換の場に移り、多くの会員から具体的に、活発な意見、提案、要望等がなされた。参加会員の多くから協働に関して前向きの意見や発言があり、今までのどちらかといえば形式的な「対話」から、真の「対話」へ前進したように感じた。

主要な意見交換は

- 市役所の組織改革で、対話推進部や市民協働部のように横割りの組織をうまく稼働させてほしい。
- 行政側の「協働」に対する理解度が低い事例を、いくつか具体例を挙げて説明、真剣な対応を要望。
- 各種審議会は行政の追認機関になっており、期待外れであり変革を要望。
- 職員の一声がインパクトを与える。意欲に欠ける答えより、こちらの提案要望を持ち帰って頑張ると言つてしまい。結果はともかく、その一声が前進への一歩となるとの行動の変革を要望。
- 問題提起しても反応がない。意識変革を強く望みたい等の声や意見が出された。

市長からは

- 組織改革は見守ってほしい。
 - 職員の人事評価も失敗はマイナスではないと、庁内でさらに議論して変革に努めたい。
 - 部長会は月に1回やっているが、管理職の100人が、市長の方針に共有し、チーム力で対応してもらうように方向性と方針を伝えていく
 - 条例や要綱の運用を考えたいし、説明責任をより果たしていきたい等々「協働」への意欲を感じる発言がなされた。
- 民間の我々が変わり、市の職員も変われば、私たちは市民と市役所との「協働」はでき、この市は素晴らしい市に変貌できるとの予兆を感じた、市長との「対話のわ」の有意義な会だった。



第一回市民活動団体交流会の報告

- 6月5日（日）13:30～15:30 サポセンにて実施、登録団体（6/5現在103団体）の内20団体が出席した。
- 主催者：市民活動ネット・チーム長岡京理事長、山田より挨拶に続き「平成28年度市民活動サポートセンター事業計画」が説明されました。次に各団体の活動紹介が、工藤氏の司会のもと行われた。
- *まちづくり女子会（樋村・車田）観光協会の枠を外した活動を目指す。 *京おとくに
- 街おこしネットワーク（中山・長尾）西山の自然豊かなおとくに地域の魅力ある街づくり活動を行っている。 *乙訓の自然を守る会（高橋）西山から淀川に至る自然を再認識



し、自然を守る活動をしています。 *環境の都づくり・竹あそび連絡協議会（江川）市と共に環境を守り、現在の「竹あそび連絡協議会」に主参画している。 *長岡京生活学校・生活会議（渡辺）廃油利用のローソクづくり等の活動にて街づくりをめざす。 *長岡京ふるさとガイドの会（川北）長岡京の歴史観光ガイドを通し観光振興しています。 *チーム乙訓（鵜野）漢詩・和歌・俳句を通して景観を守る活動を行っています。 *「男の居場所」の会（津崎）平均年齢 75 歳と高齢化が進んでいる、もっと社会参画できる活動を進めたい。 *セカンド・ライフ実行委員会（岸本）シルバーの引きこもり防止活動を行っています。 *このめ食堂（土居）カフェづくりを通して街づくり活動を行っています。 *花にしき（富森）女性の居場所、外部活動が多い。 *若者と家族のライフプランを考える会（河田）若者の引きこもり防止の社会環境づくり活動を京都で行っている。 *乙訓障害者事業協会・カフェエポカ（茶園）バンビオの障害者就労の喫茶エポカの説明。 *ほっとスペースゆう（工藤）子供・高齢者のいきいき活動。 *いきいきネット（山田）健康年齢を延ばす活動。 *長岡京市介護家族の会（上岸）介護者を支援する活動。 *高次脳機能障害研究会（高坂）脳障害の研究活動。 *ガールスカウト（中矢）活動紹介。 *長岡京手作りジャズの会（竹内・横江）最近のジャズ会の紹介。 *アイディアカフェ（村岡）昨年結成、ドローンとか旗の利用でカフェづくり。

参加者のサポセンへの要望事項：情報発信を多くほしい。 ジャンルごとの交流会を開催。 外部の団体企業との連携。 若い人との連帯がほしいとうの意見有り。（サポセンより、「カテゴリー別登録団体数」・「アンケート集計結果」の報告を行う。）



新規登録団体紹介

市民活動ネット・チーム長岡京 （お問合せ：075-954-8823 山田まで）

長岡京市を活動拠点としている、子育て支援／高齢者支援／障がいや病気をもった方への支援／環境／街づくり／居場所やサロン／福祉・医療／観光等の 12 団体が平成 27 年 8 月に「市民活動ネット・チーム長岡京」を設立して、28 年 4 月から長岡京市市民活動サポートセンターの指定管理を受託した。

活動団体が連携し、相互支援・協働を通じてより創造的で活力ある市民活動団体へと発展していくことを育成・支援すると共に長岡京市との協働のもと、公共的で公益的な街づくりの為の活動を展開し、地域社会に貢献することを目指している。永年の経験を活かしたネットワーク事業、相談・アドバイス事業に力を入れていきますので、是非窓口にお越しください。会員募集を行っています、募集要項・申込書は、サポセンまで！



MJK「まちづくり女子会」

（お問合せ：075-874-2855 横村まで）

私たちは、この 4 月に活動を始めたばかりのほやほやの MJK です。現在メンバーは 9 名です。平均年齢 64 歳の MJK です。「まちづくり」の名称をつけたのは長年観光業務に携わってきたものが 4 人、英語力を持っている者、ネイチャーヨガを続

けている者、野花、茶花、花を知り尽くしている者、京都の神社仏閣をほぼ踏破している者、京都検定に挑戦している者、奈良飛鳥で今年 6 月にお米作りを始める者、そして何より長岡京市を愛して知り尽くしている者が 9 人揃い、今までに生きてきた私達のノウハウが「まちづくり」のお役に立てないかな？共に活動の輪を広げていけないかな？

度の「女たちの歴史。因みに今年来ました。点からりなどに参加し



そしてその輪を結んでいけたらと思いました。2カ月に一回の「女たちの歴史探訪」は、懇親会も兼ねて実施して行けたらと思っていました。4月は、「吉野金峯山寺藏王堂」の特別ご開帳に参詣して、面への広がりを持ってきた事業、地域のイベント、観光祭で「人をつなぐ」「人を回す」「地域が潤う」そんな「まちづくり」のお手伝いと一緒にやりませんか？現在メンバー募集中です。